

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社  
 コード番号 2488 URL <http://www.itp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森 和昭  
 (氏名) 高島 隆明

TEL 03-6408-2488

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,573	0.6	△49	—	△63	—	△46	—
23年3月期第2四半期	2,559	△12.1	△155	—	△163	—	△130	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △47百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △133百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	△870.04	—
23年3月期第2四半期	△2,393.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,052	1,859	60.9
23年3月期	3,324	2,000	60.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,859百万円 23年3月期 2,000百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	6,055	16.1	403	—	398	—	257	—	4,819.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	60,156 株	23年3月期	60,156 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	7,457 株	23年3月期	6,683 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	53,037 株	23年3月期2Q	54,405 株
----------	----------	----------	----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
( 1 ) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
( 2 ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 3 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間 .....	6
( 3 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
( 4 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日)における我が国経済は、3月に発生した東日本大震災の復興復旧に伴う業務などで国内の産業には一部上向きの動きがみられるものの、急速な円高など国際環境では依然不透明であります。

このような経済環境の中、当社グループでは、ICTサポート分野におけるクラウド・サービスインテグレータとしての地位を確立するために適正な収益の改善の上に、国際的に通用するサービス・メニューを開発し、JTPブランドの確立で成長することに努めてまいりました。

当期より新しい3つのサービス・メニューの「世界IT人材評価テスト・システム(Lxe2)」、「資格取得保証付教育サービス(ギャランティ・ラーニング)」、「知的所有権保護サービス(IPM-Sheriff)」を国内だけでなくアジア市場に向けて営業展開を開始いたしました。また当第2四半期より福島原発事故の発生によって新たな放射線問題の解決に欠かすことの出来ない放射線測定機器(ガイガーカウンター)の取り扱いを開始いたしました。これらの放射線測定機器は、性能、機能、価格等全て日々改革される性質を持つモノであり、当社は、それらの製品の販売を主体とせず、最新機能を有する製品を組み込んだ新しいサービス・メニューの構築を開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,573,459千円(前年同期比0.6%増)となり、利益面につきましては、本社移転等をおこなったことで一時的に固定費が増加したことや新卒従業員の教育訓練期間の人件費計上等により49,099千円の営業損失(前年同期は155,045千円の営業損失)となりました。また、営業外費用として為替差損14,087千円を計上したことにより、63,732千円の経常損失(前年同期は163,278千円の経常損失)、特別利益として債務消滅益3,578千円の計上、特別損失として事務所移転費用13,540千円の計上により46,144千円の四半期純損失(前年同期は130,238千円の四半期純損失)となり84,093千円の損益改善となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

#### ソフトウェア・ソリューション事業

教育部門においては、原価の圧縮(賃借料や外注費等)を図り、利益改善に努めました。ソフトウェア開発部門においては、半導体市場の回復等により堅調に推移いたしました。また、ヘルプデスク・コールセンタ部門においては、前々連結会計年度からの海外メーカの受託業務の拡大で売上は増加いたしました。未だ人件費及び外注費等の原価をカバーするまでには至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,130,791千円(前年同期比5.4%減)、セグメント損失は67,285千円(前年同期は154,661千円のセグメント損失)となりました。

#### フィールド・ソリューション事業

コンピュータ・システムサポート部門において、営業サポート業務やICTベンダのシステム増設等に伴うネットワーク工事受託量の増加を図りましたが、米国ベンダからの業務受託量の急激な落ち込みにより売上高は減少いたしました。IT応用システム・サポート部門においては、医療機器の保守、設置業務について、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,045,717千円(前年同期比10.7%増)、セグメント利益は223,858千円(前年同期比17.7%増)となりました。

#### ハードウェア・ソリューション事業

インテグレーション・サポート部門においては、当社の受託しているメーカのサーバ出荷量が増加したことに伴い、当社の業務受託量も増加いたしました。リペアセンタ部門は、業務委託契約の一部が終了となり、売上が減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は390,644千円(前年同期比1.4%増)、セグメント利益は53,718千円(前年同期比49.8%増)となりました。

#### その他

国内子会社であるデータ・エンリー・ソリューション株式会社によるデータエンリー業務は、取引先の契約変更等により売上が大幅に減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,306千円(前年同期比81.3%減)、セグメント損失は7,635千円(前年同期は13,171千円のセグメント利益)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比し271,518千円減少し3,052,684千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比し82,986千円減少し2,330,939千円となりました。これは主に、売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比し188,531千円減少し721,744千円となりました。これは主に、事業所移転に伴う差入保証金の減少等によるものであります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比し130,699円減少し1,193,249千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比し49,627千円減少し612,915千円となりました。これは主に、賞与引当金が増加しておりますが、本社等移転費用引当金が減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比し81,072千円減少し580,333千円となりました。これは主に、長期未払金の減少によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比し140,818千円減少し1,859,435千円となりました。これは主に、四半期純損失の計上や配当金の支払による利益剰余金の減少と自己株式の取得によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値については、同日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。なお、通期の業績予想数値につきましては現在、精査中であり変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,326,945	1,358,814
受取手形及び売掛金	818,173	732,487
商品	-	1,833
仕掛品	3,053	1,929
原材料及び貯蔵品	10,204	11,165
その他	255,665	224,815
貸倒引当金	117	106
流動資産合計	2,413,926	2,330,939
固定資産		
有形固定資産	113,532	167,486
無形固定資産	184,896	167,364
投資その他の資産		
その他	612,832	387,878
貸倒引当金	985	985
投資その他の資産合計	611,847	386,892
固定資産合計	910,275	721,744
資産合計	3,324,202	3,052,684
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	74,616	96,256
未払法人税等	17,602	10,889
本社移転費用引当金	100,732	-
賞与引当金	151,111	193,122
役員賞与引当金	-	6,000
その他	318,479	306,646
流動負債合計	662,542	612,915
固定負債		
退職給付引当金	469,534	485,924
その他	191,871	94,408
固定負債合計	661,406	580,333
負債合計	1,323,948	1,193,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	795,475	795,475
資本剰余金	647,175	647,175
利益剰余金	905,839	806,221
自己株式	340,163	380,231
株主資本合計	2,008,325	1,868,639
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,072	9,204
その他の包括利益累計額合計	8,072	9,204
純資産合計	2,000,253	1,859,435
負債純資産合計	3,324,202	3,052,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,559,218	2,573,459
売上原価	2,470,317	2,338,701
売上総利益	88,900	234,757
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	54,610	62,591
賞与引当金繰入額	3,927	8,012
役員賞与引当金繰入額	-	6,000
退職給付引当金繰入額	982	1,293
その他	184,426	205,959
販売費及び一般管理費合計	243,946	283,857
営業損失( )	155,045	49,099
営業外収益		
受取利息	189	147
受取保険金	2,500	-
還付加算金	1,267	-
未払配当金除斥益	299	578
その他	1,194	64
営業外収益合計	5,449	790
営業外費用		
支払利息	1,390	1,100
為替差損	12,107	14,087
その他	184	235
営業外費用合計	13,682	15,423
経常損失( )	163,278	63,732
特別利益		
債務消滅益	-	3,578
特別利益合計	-	3,578
特別損失		
固定資産除却損	1,263	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,472	-
事務所移転費用	-	13,540
特別損失合計	22,736	13,540
税金等調整前四半期純損失( )	186,014	73,693
法人税、住民税及び事業税	4,623	5,912
法人税等調整額	60,400	33,460
法人税等合計	55,776	27,548
少数株主損益調整前四半期純損失( )	130,238	46,144
四半期純損失( )	130,238	46,144

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	130,238	46,144
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,987	1,132
その他の包括利益合計	2,987	1,132
四半期包括利益	133,225	47,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,225	47,277
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

( 3 ) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

( 4 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。